

敦煌の歴史と社会

The History and Culture of Dun-huang

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	山口 正晃(総合文化学部総合文化学科准教授)
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	前期4時限(17:50~19:20)、金曜日(4月12日~7月19日、5月3日(祝日)は授業実施)
成績評価	授業の取り組み姿勢(出席状況を含む)、中間試験、期末レポートによって評価する。
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考文献	郝春文著・山口正晃訳『よみがえる古文書—敦煌遺書』東方書店(2013年)
授業以外の学習方法	授業中に紹介するさまざまな関連文献を積極的に読むこと。また第6~14回授業については、毎回復習をすることが期末レポートの作成に必要となる。
その他の特記事項	上記参考文献は、希望者には1900円で配布する。
講義概要	敦煌は、中国の西北辺境、砂漠地帯に位置するオアシス都市、シルクロード上の要衝である。ここは辺境であるが故に、中華王朝の本流とはやや異なる歴史を辿り、一種独特の文化を花開かせた。本講義ではこうした敦煌の歴史を通観し、また今から百年余り前に敦煌莫高窟から偶然発見された一大古写本群(通称「敦煌文献」)を用いて、9~10世紀における敦煌地域社会の一端を探る。こうした作業を通じて複眼的な歴史の見方を身につけることを目標とする。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none">1. シルクロードの概要2. 敦煌の歴史(1)3. 敦煌の歴史(2)4. 敦煌文献の概要(1)5. 敦煌文献の概要(2)・中間テスト6. 社文書(社条)7. 社文書(社司転帖)8. 契約文書(1)9. 契約文書(2)10. 官文書(1)11. 官文書(2)12. 遺言状13. 敦煌の仏教(変文)14. 敦煌の仏教(仏名経)15. まとめ